

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		農業用プラスチック適正処理推進協議会支援事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040104000832
						単独/補助	単独	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名	0401 農林業の振興						課長名	農林課
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり						グループ	農政G
	施策名	01 農林業の振興						担当者名	
	手段名	04 ④農村環境の保全							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	01	03	03	00	特産物振興事業		
法令根拠	桜川市農業用プラスチック適正処理推進協議会補助金交付要綱								
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	園芸農業の振興及び使用済み農業用プラスチックの適正処理に関する事業を行い、安全で安心な園芸作業と環境の保全に寄与することである。					・桜川市農業用プラスチック適正処理推進協議会 1) 農業用廃プラスチック収集処理対策について検討し、農村環境の保全と園芸農家の健全な発展に資する。 2) 農業用廃プラスチックの収集事業を主体運営し、処理費については県・市・農家及び農業団体等が負担しあう。 3) 県・市・農協が主体運営し、農業用廃プラスチックの適正処理事業に関わる啓発・指導を行う。				

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度		
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
農業用廃プラスチック収集処理対策について検討し、農業用廃プラスチックの収集事業を主体運営し、農業用廃プラスチックの適正処理事業に関わる啓発・指導を行う。	収集処理回数	回	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度		
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
農業用プラスチックを排出する農家	登録農家数	戸	154.00	69.00	150.00	150.00	150.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度		
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
廃プラスチック収集による農村環境の保全	農ビ回収実績	t	48.96	16.64	50.00	50.00	50.00		
	農ポリ回収実績	t	65.09	30.62	50.00	50.00	50.00		
	リサイクル不能分 (H30年度の単位はm3)	t	16.76	0.00	2.00	2.00	2.00		

(3) 投入量 (事業費) の推移			01年度	02年度	03年度			期間限定
			(実績)	(実績)	(計画)			総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0		0
		県支出金	千円	0	0	0		0
		地方債	千円	0	0	0		0
		使用料・手数料	千円	0	0	0		0
		その他	千円	170	150	150		0
		一般財源	千円	3,670	1,085	3,000		0
		事業費計 (A)	千円	3,840	1,235	3,150		0
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人			

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)				
	18 負担金補助及び交付金	1,235		18 負担金補助及び交付金	3,150			
			合計	1,235		合計	3,150	

事務事業名	農業用プラスチック適正処理推進協議会支援事業	事務事業No.	40104000832	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 農業用廃プラスチックの収集処理対策について検討し、農村環境の保全と園芸農家等の健全な発展を目的に始まった。【平成18年に桜川市農業用プラスチック適正処理推進協議会設立】					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 農業用プラスチックを個人で排出する場合、一般廃棄物処理となり処分費用が何倍にもなるため、本事業を継続してほしい。また、リサイクル不能ものの処分に苦慮しており、市で対応してほしいとの要望がある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・農業用プラスチック収集は、市の目的とする農村環境の保全と園芸農家等の健全な発展に寄与し、不法投棄や野焼き等の軽減効果につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・農村環境の保全という観点から、廃プラスチックの収集処理は市が中心になって行うべきものである。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない ・その年によって回収量にばらつきがあるため、リサイクルの啓発を継続し排出量を安定させる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・処理費用により農家負担が増え、廃プラスチックの収集率が悪くなり、環境が悪化する。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない ・類似事業がないため。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・リサイクル不能分については、台費による料金徴収とする、または、排出農家個人で、処分業者へ持ち込みしてもらうことを検討中である。 ・最低限の人件費である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・農業用プラスチックを排出する全農家を対象としているため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・長期にわたり実施しているため、収集の認知度は向上している。 ・収集時の廃プラスチック(主に農ビ)の状態が良くないものが多い。保管方法、排出の際の注意事項など啓発を継続する。 ・令和2年度リサイクル不能分の収集要望があったため令和3年度は収集を実施する。 ・令和3年度より収集方法をハンディスケール方式に変更する予定。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 令和2年度までトラック1台あたりの計算で収集料金を徴収していたが、県内の市町村のほとんどが収集の際の料金徴収方法を台費にしているため、令和3年度から桜川市も台費に切り替える予定である。 徴収方法をトラック1台あたりから台費に変えることで正確な金額を徴収することができる。 課題としては、台費でのやり方や、日程設定・料金設定・人手不足などがあげられる。 解決策は台費を用いている近隣市町村を実際に見学に行き、やり方を参考にすると等があげられる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>